



# オンライン研修会のご案内

YouTube上での動画による講義（ビデオオンデマンド形式）

令和2年度札幌市医療的ケア児等支援者養成研修企画運営業務

## 医療的ケア児等 支援者養成研修会



定員

# 100名

締切11/30（月）

医療の進歩に伴って、日常的に医療を必要としながら在宅で生活をする子どもたち（医療的ケア児等）の数が札幌市内でも増えつつあります。かれらの地域生活には、医療のみならず、成長発達に添った福祉、保育、療育、教育、社会参加その他領域の重層的・継続的な支援が必要とされます。

今年度はICFの概念を基軸として、当事者および家族そして関連分野の専門職としての視点から、支援の在り方を学ぶ研修会を企画いたしました。

開講時期：12月14日（月）～1月31日（日）

### オンライン講座（全25コマ、750分）

期間中にYouTubeに限定公開する講義ビデオを視聴していただきます。すべての講義の視聴を修了され、下記のオンライン情報交換セッションにご参加いただいた方に「修了証」を発行いたします（各講義は小テストで確認させていただきます）。各講座の詳細は裏面をご覧ください。なお、通常2日間の講義形式で実施するところ、このたびはオンライン研修で国の示すカリキュラムに沿った内容を実施する必要性から裏面の通りの講義ビデオを視聴していただくこととなります。

### オンライン情報交換セッション：

受講生の皆さんと講師陣とがZOOMで集い、テーマをもとにディスカッションなどを行いながらネットワークづくりに活用していただきます。

① 2021年1月14日（木）18:00-19:30

② 2021年1月15日（金）15:00-16:30

※ 上記どちらか都合のよい日程を選択ください。

### 参加方法

#### STEP1

スマートフォン・タブレット、PCよりお申し込みください。

#### STEP2

申し込み後、事務局より受講用URLをメールでご連絡します。テキストは郵送でお送りします。

#### STEP3

開講期間中に各講義の受講用URLにアクセスして受講ください。

#### STEP4

情報交換セッションにご参加の際はあらかじめzoom（Web会議ツール）のインストールが必要です（後日、参加用URLをご参加の皆さんに配信します）。

### お申し込み

#### ● スマホ・タブレットの場合

右記QRコードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。申し込みフォームが開きます。



#### ● パソコンの場合

下記より申し込ただけです。

<https://forms.gle/LcomDYuGPmmhazvh9>

◇ 研修会事務局  
医療法人稲生会  
電話：011-685-2799  
toseikai@kjnet.onmicrosoft.com

## 参加 無料

## ◇ 研修会概要

- **目的：**医療的ケア児等の支援に関する専門研修を実施することで、札幌市内の医療的ケア児等の現状についての理解を促すとともに、医療的知識を含め、適切な支援の方法を伝えることにより、医療的ケア児等を支援可能な者を養成することを目的とします。
- **対象：**札幌市内で医療的ケア児等に関わる支援業務を行っている（又は行うことを検討している）方々を対象とします。過去の受講歴は問いません。
- **受講方法：**講義開催期間中（2020年12月14日～2021年1月31日）にYouTubeに限定公開する講義ビデオを視聴していただきます。
- **小テストについて：**各講義視聴後にはGoogle Formsによる小テストを受けていただきます。
- **情報交換セッションの参加方法：**zoom（Webオンライン会議システム）で開催します。事前にアプリケーションのダウンロードが必要です。開催日（2021年1月14日18:00～と1月15日15:00～）のどちらかご都合のよい日を選択してください。参加を希望される方には追って参加用URLをお送りします。必須ではありませんが、修了証の発行には情報交換セッションのご参加が必要となります。もし上記日程ではご都合がつかない場合は別途ご相談ください。なお、情報交換セッションのみのご参加もご相談に応じます。
- **修了証について：**すべての講義の視聴を修了されて小テストの回答を完了され、かつオンライン情報交換セッションにご参加いただいた方に「修了証」を発行いたします。

	内容	時間	講師氏名	職種/所属
1	国・道内の医ケア児等への支援体制整備の現状・課題 札幌市の医療体制（二次医療圏域・医療機関同士の連携）の現状・課題	30分	土島 智幸	医師/稲生会
2	医ケア児等コーディネーターに期待する行動及び役割 医ケア児等の成長と発達を見通した支援体制整備の視点	30分	高波千代子	社会福祉士/稲生会
3	子どもの状態像	30分	土島 智幸	医師/稲生会
4	みんなで作る医療安全	30分	鈴木 大真	医師/稲生会
5	多職種連携の基本的知識 事例) NICUからの在宅移行	30分	佐々木 恵	看護師/稲生会
6	訪問看護の仕組み・日常生活における医療的ケア	30分	松木 由理	看護師/稲生会
7	障害を持つ子どもの親となることを支援する視点 事例) 暮らしの再構築を中心とした家族支援	30分	松木 由理	看護師/稲生会
8	事例) 看取りへの支援	30分	三宅 のえる	医師/稲生会
9	ICFを活用した支援の意義と必要性	30分	伊西 夏恵	OT/稲生会
10	ICF身体機能と構造①子どもの育ちと定型発達 よく出会う医ケア児等の発達の特徴	30分	川村 健太郎	医師/稲生会
11	ICF身体機能と構造②粗大、微細運動と感覚の関係性	30分	羽根川 哲夫	PT/稲生会
12	ICF身体機能と構造③口腔内を整える	30分	高井 理人	歯科医師/稲生会
13	想定される職種・法律上できること・できないこと	30分	土島 智幸	医師/稲生会
14	ICF身体機能・構造・活動・参加を支える制度資源（環境の整備） ①家族支援・虐待及びようたいきょう（児相）・権利擁護 ②困窮者支援・親の就労支援	30分	鈴木 菜摘子	看護師/稲生会
15	ICF身体機能・構造・活動・参加を支える制度資源（環境の整備） ③災害支援体制の基本的な考え方	30分	目黒 祐美子	社会福祉士/稲生会
16	医療的ケア児を支える短期入所	30分	米川 史恵 さん	福) 榎の会 こどもクリニック
17	児童発達支援について	30分	宮本 佳江 さん	NPO法人ソルキッズ
18	医療的ケア児等の遊び・保育 どんぐりの森における実践 ICF活動①遊びと生活体験・発達支援	30分	磯邊 智	保育士/稲生会
19	ICF活動②コミュニケーション	30分	澤頭 莊子	ST/稲生会
20	ICF参加①教育就学先決定のプロセス、学校看護師の対応、訪問看護等の 導入、特別支援学校で行われる医療的ケア、特別支援教育コーディネーター	30分	伊西 夏恵	OT/稲生会
21	医療的ケア児の家族の思いの理解	30分	関家 あゆみ さん	ご家族
22	成人期における支援 ICF参加②就労支援	45分	梅村 圭 伊西夏恵	介護福祉士/稲生会 OT/稲生会
23	事例) 医療的ケアを行いながらの地域参加を支援する	15分	山崎 薫	看護師/稲生会
24	医療的ケアを必要とする当事者の思いの理解	30分	吉成 亜実 さん	当事者
25	感染対策（新型コロナウイルスを中心に～）	30分	橋本 弥恵	看護師/稲生会
※	情報交換セッション：講師とともに参加者が連携をとるきっかけとして、 情報交換や実践事例の共有などを行う	90分	事務局 各講師	稲生会
	合計時間数	840分		